

聖餐式の言葉から 4

祈りましょう（特祷）

聖餐式の「参入」部分の結びは特祷です。「み言葉」の前に置かれています。

特祷本文の前に、司式者の「呼びかけ」と会衆の「応答」があります。

司祭 主は皆さんとともに
会衆 また、あなたとともに

この「呼びかけ」と「応答」は、福音書朗読の前後、平和の挨拶、感謝聖別の冒頭、最後の祝福と派遣にもあります。これによって司式者と会衆は互いに呼び交わして思いを一つにし、祈りを深めます。

この「呼びかけ」と「応答」を大切にしましょう。司祭がはっきりと会衆に呼びかけ、会衆が司祭にしっかりと応答することによって、礼拝は生き生きしたものになります。

特祷の際、会衆の応答を受けて司祭は言います。

司祭 祈りましょう

特祷は英語では **collect** です。会衆一人ひとりの祈りが集められてくっきりした形をなしたものの、という意味があるようです。

特祷は大きく言えば三つの部分からなります。

1. 神への呼びかけ
2. 祈りの内容
3. 執り成し（主イエス・キリストによって）

特祷は司式者が祈りますが、その祈りは会衆全体の祈りです。「**アーメン**」によってそれをあらわします。

特祷の表現は一般的なものですが、その中にわたしたち一人ひとりの、また教会共同体の思いを深く込めて祈るとき、神からの導きと力が与えられます。

司祭 ヨハネ 井田 泉